

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善事項・工夫している点等
環境・ 体制整備	①	利用定員に対し受け入れスペースは適切である	8	1		
	②	職員の配置数は適切である	2	8		人数は足りていても配置が明確でない為か、忙しさに偏りがある。 現在の配置数で限界であり、これ以上利用者を増やすことが出来ない。
	③	事業所の設備や生活空間等について、バリアフリー化等の配慮が適切になされている	8	2		和室の入り口の段差が気になることがある。
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている	8	2		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が関与している	4	6		
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	8	2		担当者会議等で要望を聞き入れ、業務改善に繋げている。
	⑦	この自己評価の結果を、事業所の広報紙やホームページ等で公開している	7	2	1	諫早療育センター内のひまわりのホームページに公開している。また、ひまわり内の掲示板にも掲示している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	1		
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、利用者と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1		
	⑩	放課後等デイサービスについては、放課後等デイサービスガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	10			
	⑪	児童発達支援計画については、児童発達支援ガイドライン内の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			
	⑫	個別支援計画に沿った支援が行われている	10			心掛けてはいるものの、目を向けれていないこともある。
	⑬	活動計画の立案をチームで行っている	9	1		毎月担当振り分けを行い立案している。
	⑭	活動計画が固定化しない様工夫している	9	1		
	⑮	放課後等デイサービスでは、平日・休日・長期休暇に応じて、課題を設定して支援している	9	1		
	⑯	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援を行っている	10			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認をしている	10			部署内の多職種で事前に話し合いをしっかりと行っている。
	⑱	支援終了後には、伝達ノート等を利用し、気付いた点等を共有している	10			皆に分かり易い様工夫して記載している。 情報の共有や申し送り事項など、伝達ノートの活用が出来ている。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	10			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議には、利用者の状況をよく把握した者が関与している	10			
	㉑	学校や保育園、子育て支援等の関係者と連携した支援を行っている	10			
	㉒	医療的ケア児が利用するにあたり、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	3		一部の利用者はできているが全員出来ているとは言えない。
	㉓	医療的ケア児が利用するにあたり、利用者の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	4		一部の利用者については、退院時の調整会議の開催があり
	㉔	移行支援として、保育園や学校等の各種関連機関との情報共有と相互理解を図っている	8	2		
	㉕	就学前に利用していた保育所や児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を図っている	9	1		
	㉖	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			
保護者への説明責任等	㉗	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	1		
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	1		相談や意見等あった時は持ち帰り、スタッフ間と情報共有し話し合い対応している
	㉙	保護者会等を開催する事により、保護者同士の連携を支援している	2	5	3	保護者会が開催されていない。
	㉚	利用者や保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備すると共に、利用者や保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	1		
	㉛	定期的に広報紙等を発行し、活動の様子や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や保護者に発信している	10			
	㉜	個人情報に十分注意している	10			
	㉝	障害種別(聴覚・視覚障害等)に応じた利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			
非常時の対応	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し周知している	10			
	㉟	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			
	㊱	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			
	㊲	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、事前に十分な説明を行い了解を得ている	10			個別支援計画に組み込むことで、家族に説明が出来ると同時に承諾を得ることが出来ている。
	㊳	服薬や予防接種、てんかん発作等利用者の状況を家族に確認している	10			
	㊴	食物アレルギーのある利用者について、アレルギー食の提供等の適切な対応がされている	10			アレルギー食用の献立表の材料チェックを忘れずに行うよう心掛けている。
	㊵	ヒヤリハット事例を事業所内で共有している	10			